



# 学校だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/byobugaura/>

7 月 号  
令和3年6月30日  
横浜市立屏風浦小学校  
校長 海老原 眞

## 表現を確かな自信に

校長 海老原 眞

今週はやっと梅雨らしい様子も感じられるようになり、梅雨の晴れ間の夏空に、雨のしずくをまどって輝く紫陽花の美しさが、一段と映えています。学校では、低学年の子どもたちが育てている花や野菜の苗が、ぐんぐんと育ってきています。中休みには、子どもたちがその実を両手で優しく包みながら「ほら、見て。こんなに大きくなったよ。」と、友達とにこにこしながら話している姿も見られます。雨の恵みを糧にして、これから夏にかけて、大きな実りを楽しみに過ごしていけるとよいなと思っています。

さて学校では、今年度から、月に一回、朝会の時間を活用して『☆屏小 笑顔プロジェクト』という活動を始めました。学校教育目標『学び合い 笑顔かがやく 屏風の子』に関わる学校の活動として、日々の中で、少しでも子どもたちの笑顔を増やし、子どもたち相互の関わりを増やし、子ども自身の肯定感や成就感を高めるために、この取組を進めています。

5月に全校に向けて募集をかけると、早速、6月のプロジェクトに、6年生と4年生の子どもたちが名乗りをあげてくれました。6年生4人のグループは、『パブリカ』という曲を歌と合奏で、4年生9人の『ニコスマ ハッピー』というグループは、ダンスや楽器をライブで元気に披露しました。どちらの発表も、その発表に至るまでのがんばりと協力が感じられるとともに、全校に笑顔を届けるという目的を意識して発表に取り組めていて素晴らしいものでした。さらに、7月のプロジェクトにも、すでに5年生と6年生のグループがエントリーしてくれていて、なわとびやダンスの発表を準備しているところです。当日をとっても楽しみにしています。当初、自分自身が全校に声をかけて、どれくらい子どもたちが反応を返してくれるのか心配していましたが、機会を前向きに捉え、チャレンジしようとする気持ちが、子どもたちの中にしっかりと育っていることに感心するとともに、とてもうれしく思いました。

さらに、このプロジェクトの流れの最後には、とても大切なことを示してあります。それは、『発表をほめ、声をかけよう!』ということです。自分自身や自分たちが、伝えたいことやがんばっていること、得意なことなどを周りに表現し伝えようとする『勇気』は、並大抵のことではないと思います。そこに向かい合い、表現を楽しみ、力を発揮した子どもたちの表情は、本当にきらきらと輝いています。その表現の良さを、周りがさらに認め、ほめ、励ますことで、必ずその先を生きる確かな自信となるのではないかと、改めて感じています。



7月下旬からは、長い夏休みになります。今年度、期間的には例年の夏休みと同じになりますが、日常の生活では、まだまだ感染防止対策が必要で制約の多い場面もあると思います。安全や健康に気を付けながら、楽しく有意義な夏休みを過ごし、2学期の始業式には、また子どもたちの素敵な笑顔が見られることを期待しています。